

高知市地域福祉活動推進計画(令和7～12年度) 概要(案)

令和6年8月6日
高知市地域福祉計画推進協議会 別紙資料
健康福祉部 地域共生社会推進課
高知市社会福祉協議会

【基本理念】 だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまち

【基本目標】

基本目標1

地域の多様な担い手の発掘と育成

【施策の方向性】

1-1

多様な主体の意識醸成

第3期重点目標

1-2

多様な主体の活動支援

第3期重点目標

【実施予定の取組】

1-1

- 「おたがいさま」「ほおつちよけん」の住民意識づくり
 - ⇒ 保育園・学校・企業等多様な主体への福祉教育(ほおつちよけん学習の実施)
 - ⇒ 「ほおつちよけん学習サポーター」の養成・育成
 - ⇒ 高知市社会福祉法人連絡協議会と連携した多様な主体の参画による取組の展開
- 市民への地域福祉の意識醸成(ターゲットやテーマ、興味・関心等を意識した情報発信や働きかけ)
 - ⇒ SNS(高知市社会福祉協議会Facebook, Instagram, HP等)を活用した情報発信
 - ⇒ 社会福祉大会の企画・開催(高知市・地区社連・民児協共催)
 - ⇒ 市民啓発イベントの実施
 - ⇒ ボランティアセンターの周知
 - ⇒ 「セーフティネット」「家計」をテーマとした出前講座を通じ、若年層に向けた予防的福祉の実施
- 福祉教育的機能を意識した場づくり、機会づくり
 - ⇒ 「ほおつちよけん相談窓口」の周知と相談対応等による、個別の生活課題への対応を通じた啓発活動
 - ⇒ 「ほおつちよけんネットワーク会議」の話し合いや、「生活支援ボランティア」等の活動を通じて地域生活課題に触れる機会づくり
- 寄付文化の醸成
 - ⇒ 共同募金等

1-2

- 高知市社会福祉法人連絡協議会の活動及び運営支援(事務局運営)
- NPO法人、有償ボランティア団体等との連携・協働
 - ⇒ NPO法人等と協働した子育てサポート交流会の開催等
- ボランティアセンターの機能強化
 - ⇒ ボランティアの養成(各種講座・研修会の開催)及び活動支援(福祉委員、生活支援ボランティア等)
 - ⇒ ボランティアが活動しやすい環境づくり(ボランティアに関する情報収集・提供、ボランティア登録者及び受入側に対する研修の実施)
 - ⇒ ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐコーディネート機能強化
- 学生・企業等多様な主体の活動支援
 - ⇒ 中学生、高校生、大学生等の若い世代との協働に向けた活動展開
 - ⇒ 企業への「ほおつちよけん学習」の実施を通じた、学びから企業の社会貢献活動までの一体的なコーディネートの実施
- 民生委員児童委員活動や地区社会福祉協議会活動、町内会活動等の支援、連携推進
 - ⇒ 地域の活動団体との連携
 - ⇒ 地域福祉活動の負担軽減策の検討、担い手確保支援
- 住民の地域活動参加の促進

基本目標2

地域での課題解決力の強化

2-1

多様な主体がつながり課題解決に向けて話し合う場づくり

第3期重点目標

2-2

課題解決に向けた住民主体の地域活動の支援

第3期重点目標

2-1

- 住民等が主体的に地域生活課題を共有し課題解決に向けて話し合う場づくり
 - ⇒ ほおつちよけんネットワーク会議等の開催支援
 - ⇒ 福祉分野以外の分野との協働
 - ⇒ 「興味・関心から始まる活動」と「個別支援から地域生活課題の解決をめざす活動」が出会い、ともに学べるプラットフォームづくり
- 高知市社会福祉法人連絡協議会の活動及び運営支援

2-2

- 話し合いの場から生まれる住民主体の地域活動の支援(集いの場、学習会、生活支援ボランティアの養成・活動支援等)
- 住民の地域活動参加の促進
- 既存の社会資源の活用と拡充及び新規創出に向けた働きかけ(Licoネット含む)
- 官民協働の取組の推進
- 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の推進

基本目標3

だれもが活躍できる地域づくり

3-1

多世代・多分野の交流の場づくり

3-2

だれもが活躍・参加できるための支援

第3期重点目標

3-1

- 既存の社会資源の機能拡充及び新たな社会資源の創設に向けた働きかけ
- 共通の興味・関心から生じるつながりづくり
 - (子育て世代を対象としたイベントの開催支援、企業と協働したイベントの実施等)
- 安心して過ごし、つながることのできる居場所や機会づくり
- Licoネットを活用した情報発信
- 社会福祉法人や民間企業等の持つ専門性や取組を有効活用した交流の機会づくり
 - ⇒ 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の推進
 - ⇒ 民間企業の地域貢献の推進(企業向けまちづくり相談窓口の実施)
 - ⇒ 既存の拠点、施設等の活用

3-2

- だれもが生きがいや役割を持つことができる社会参加の機会づくり
 - ⇒ 「支える側」「支えられる側」の関係を越えてだれもが活躍できる機会づくり
 - ⇒ ひきこもりの人や障がいのある人等の社会参加(就労含む)の機会づくり
- 子育て、障がい、高齢、教育の各分野の専門機関等と協働した取組の推進
- 住民主体の生活支援サービス等の開発及び支援
 - ⇒ 生活支援ボランティアの養成・活動支援等
- 企業や民間団体と連携した様々な背景を抱えた生活困窮者等の就労の場づくり
 - ⇒ 生活困窮者就労準備支援事業の実施
 - ⇒ 農福連携
- ひきこもりの人や社会的孤立状態の人が多様な形で社会とつながる支援
 - ⇒ 赤い羽根共同募金助成金を活用した社会参加応援プロジェクトの拡充

基本目標4

包括的な相談支援体制の充実

4-1

相談支援機関の連携強化

第3期重点目標

4-1

- ・市民への相談支援機関(相談窓口)の周知
- ・多機関協働による包括的支援の推進(制度の狭間の課題や、複合的な課題を持つ世帯への対応等)
 - ⇒「包括的相談支援員」の配置による多機関協働による支援の推進
 - ⇒生活環境の改善支援における環境部との連携
 - ⇒不登校・ひきこもり支援における教育分野、高知県ひきこもり地域支援センターとの連携
 - ⇒ひきこもり状態の人などの伴走支援及び長期的支援が必要な人への支援体制の検討
 - ⇒人材育成(庁内外の相談支援機関への研修、事例検討、支援会議等の開催)
- ・既存のネットワークを活用した多機関協働の仕組みづくりの拡充
 - ⇒こうちセーフティネット連絡会、自立支援協議会、教育部門(SSW、教育支援センター等)、高知市社会福祉法人連絡協議会等
- ・生活困窮者自立支援制度に基づく制度の狭間の課題への支援(高知市生活支援相談センター)
- ・権利擁護の推進
 - ⇒権利擁護支援地域連携ネットワークにおける中核機関事業の実施【市委託事業】
 - ⇒総合的な権利擁護支援(日常生活自立支援事業、法人後見受任事業、これからあんしんサポート事業等の実施)
 - ⇒市民後見人の養成や育成及び活動支援

4-2

地域における見守り・支え合いの充実

4-2

- ・支援が必要な人の早期把握及び適切な支援につなげる取組の継続
 - ⇒「ほおっちょけん相談窓口」の運営支援、周知
 - ⇒民生委員児童委員との連携
 - ⇒住民の意識醸成による身近な地域での見守り・声かけ等の支え合いの充実
- ・高知市社会福祉法人連絡協議会の活動及び運営支援
 - ⇒生活困窮者の自立に向けたセーフティネット事業「くらしあんしん応援事業」を実施
 - ⇒「出張相談会」の実施

基本目標5

安全・安心につながる環境づくり

5-1

暮らしやすい生活環境の整備

5-1

- ・生活や社会・経済活動の基盤整備(福祉でまちづくり)
 - ⇒交通手段や住まい等の課題への対応
 - ⇒福祉サービスの整備・活用

5-2

災害対策の充実

5-2

- ・避難行動要支援者対策、重点継続要医療者支援対策の推進
 - ⇒地域でのつながりづくり
- ・災害ボランティアセンター検討会議及びネットワーク会議の開催
- ・高知青年会議所とNPO高知市民会議、市社協の三者で締結した「協定書」をもとに、大規模災害時の災害ボランティアセンターの設置・運営に向けた連携・協働体制の構築
- ・ライオンズクラブと締結した災害ボランティアセンターの活動支援に関する協定をもとに連携・協働体制を構築
- ・防災と福祉の連携

5-3

地域共生社会の実現のための基盤強化

5-3

- ・地域共生社会の実現のための部局横断組織(高知市地域共生社会推進本部)を通じた関係機関の取組・連携強化
- ・地域に携わる部署の連携推進(防災福祉部会)
- ・重層的支援体制整備事業を活用した一体的な取組の推進
 - ⇒携わる職員の意識醸成
 - ⇒個別支援から明らかになる地域課題の解決
 - ⇒必要な社会資源の創出・拡充
- ・地域福祉コーディネーターの人材育成
 - ⇒地域支援事例検討会の実施
 - ⇒新任職員(入職3年目まで)を対象にした、フォローアップ研修の実施
 - ⇒キャリアパスと自己啓発カードを連動させ、めざす地域福祉コーディネーター像の明確化に向けた取組の実施
- ・高知市社会福祉協議会部門間連携の体制づくり
 - ⇒東西南北の圏域ごとに、エリア連携会議を開催し、個別支援と地域支援の一体的な展開による市社協内での部門間連携を強化